

化学療法計画書

ID						指示医師： 指導医師： 投与開始予定日： 年 月 日 投与終了日： 年 月 日			
氏名									
生年 月日									
実施部署			発行日						
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50				
病名		乳癌							
治療法		フェスゴ単独維持療法							
抗癌剤・商品名		1 フェスゴ配合皮下注							
規格		IN MA							
一般名		トラスツズマブ/ペルツズマブ							
一日投与量(規定)		初回 IN(Tmab:600mg PER:1200mg) 2回目以降 MA(Tmab:600mg PER:600mg)							
投与日		day1							
1クール期間		21日間							
予定クール数		●術後投与の場合は最大14コースまで							
検査スケジュール		原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施							
適応基準		HER2陽性乳癌							
推奨 経口剤		○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。							
禁忌		1.本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性							
中止基準		投与前の好中球数:1500/mm3未満、血小板数:100,000/mm3未満 骨髓機能が回復するまでは投与延期 (CLEOPATRA試験の投与基準に準拠)							
副作用		●フェスゴ 重大 1.心機能障害 2.Infusion reaction 3.過敏症、アナフィラキシー 4.骨髓抑制 5.間質性肺疾患 6.腫瘍崩壊症候群 7.肝不全、 肝障害 8.腎障害 9.昏睡、脳血管障害、脳浮腫 10.敗血症 その他 (5%以上)下痢、発疹、注射部位反応、疲労 (2～5%未満)末梢性ニューロパチー、錯感覚、味覚異常、不眠症、口内炎、悪心、食欲減退、腹痛、便秘、呼吸困難、 鼻出血、爪の障害、皮膚乾燥、手掌・足底発赤知覚不全症候群、脱毛症、筋肉痛、筋骨格痛、関節痛、 ALT増加、AST増加、無力症、粘膜の炎症、浮腫 (2%未満)頭痛、めまい、不安、うつ病、嗜眠、神経毒性、結膜炎、流涙増加、視力障害、眼乾燥、嘔吐、消化不良、 口内乾燥、ほてり、血腫、頻脈、動悸、潮紅、高血圧、上気道感染、咳嗽、鼻漏、鼻乾燥、胸水、鼻部不快感、 口腔咽頭痛、爪感染、皮膚炎、紅斑、ざ瘡、そう痒症、皮膚亀裂、筋骨格硬直、γ-GTP増加、リンパ球減少、 血小板減少、高クロール血症、LDH増加、高カルシウム血症、高トリグリセリド血症、低カリウム血症、倦怠感、 発熱、体重減少、蜂巣炎、悪寒、丹毒、インフルエンザ様疾患、粘膜乾燥、疼痛							
備考		●前回投与より6週以上投与間隔が空いた場合は、フェスゴ配合皮下注は IN を使用すること							

フェスゴ単独維持療法 観察記録

所要時間:約30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師: フェスゴ配合皮下注(MA) 一般名(トラスツズマブ・ペルツズマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	☐ 投与決定 ☐ 未決定 ☐ 延期・中止		投与開始時間	調剤	実施
投与指示	本体	側管			
	フェスゴ配合皮下注 ※投与部位は下図参照		5分以上かけて皮下注 ※IN規格投与時は8分以上かけること		
	投与後15分経過観察				

